

# 目次

PC-DMISの概要 .....	1
PC-DMISの概要：イントロダクション .....	1
PC-DMIS Core ドキュメントの構成.....	2
ドキュメントの命名規約.....	4
PC-DMIS自動操作 .....	7
ソフトウェア コンフィギュレーション .....	8
オフライン・モードとオンライン・モードの比較 .....	12
PC-DMIS CMM .....	13
PC-DMIS Vision .....	14
PC-DMIS NC.....	15
PC-DMIS レーザー.....	15
PC-DMIS ポータブル .....	15
PC-DMIS Gear .....	15
環境コンフィギュレータ .....	16



# PC-DMISの概要

---

## PC-DMISの概要：イントロダクション

PC-DMIS は全機能を搭載した幾何学的測定パッケージです。パーツを測定するために必要な高レベルのコマンドを、座標測定機 (CMM) を駆動するのに必要な詳細手順に変換します。PC-DMIS は測定ルーチンの作成および実行用に Microsoft Windows インターフェイスを内蔵しています。ドロップダウンメニュー、ダイアログ ボックス、およびアイコンの利点を生かすことで測定プロセスを開始できます。さらに、汎用性のある PC-DMIS ユーザーインターフェイスにより、個別の仕様に合わせてソフトウェアを簡単にカスタマイズすることが可能です。

PC-DMIS for Windows の設計を推進する主な目標は柔軟性とユーザーの使いやすさです。この目標を達成するため、PC-DMIS は他の一部ソフトウェアパッケージに特徴的な長いデバッグプロセスとは逆に、リアルタイムのエラー修正を可能とする柔軟な環境を提供します。測定結果指向で CMM 測定結果を分析、解析する必要性を削減しています。CMM での測定ルーチン手法は単純で実用的、系統的で、このドキュメントでは測定結果をもとにした検査プロセスのすべてを説明するわけではありません。測定結果の検査の基礎に関して追加の情報が必要な場合、ソフトウェア担当にお問い合わせください。

このバージョンの新機能を表示するには、PC-DMIS のホームページから **新機能** を選択します。

この章の主なトピックは、次のとおり：

- マニュアルの構成
- PC-DMIS 自動操作
- ソフトウェア コンフィギュレーション



この文書には PC-DMIS の操作に必要なコア文書が含まれています。ただし、PC-DMISのモジュール特性により、追加の文書もコンピュータシステムにインストールされる可能性があります。インストールされた他のファイルを表示するには、ヘルプファイルの [目次] タブをクリックしてください。

## PC-DMIS Core ドキュメントの構成

本ドキュメントは多くの主要な章と、いくつかの補足的な付録に分かれています。文書のレイアウトを分かりやすく示すために、次のリストで各章の簡単な説明を表示します。

ヘルプドキュメントの検索方法について支援を受けるには、PC-DMISヘルプセンターの「オフラインヘルプの使用」トピックを参照してください。

- 「PC-DMIS: 概要」 - これはお読みになっている現在の章です。PC-DMISとPC-DMIS文書の内容についての概要が記載されています。
- 「ユーザーインターフェースの利用」 - この章には、PC-DMIS ユーザーインターフェースと、必要に応じてそれをカスタマイズする方法を記載しています。
- 「基本的なファイルオプションの使用」 - この章では、新しい測定ルーチンの開始および保存ならびにPC-DMISの終了などを行うのに使用できる基本的なファイル操作について説明しています。
- 「詳細なファイルオプションの使用」 - この章では、CADファイルのインポートとエクスポート、及び測定ルーチンの実行など、詳細なファイル操作について説明しています。
- 「ユーザー設定」 - この章では、セットアップ オプションと測定ルーチンのパラメータについて説明しています。
- 「CAD表示の編集」 - この章では、グラフィックの表示ウィンドウを使用してCADファイルの表示を編集する方法を説明します。
- 「測定ルーチンの編集」 - この章では、編集ウィンドウと測定ルーチンの編集方法について説明します。
- 「編集ウィンドウの使用」 - この章では、PC-DMISに内蔵のエディタを使用して測定ルーチンの作成、デバッグ、編集および実行を行う方法について説明します。

- 「その他のウィンドウ、エディターおよびツールの使用」 - この章では、追加のウィンドウ、エディターおよびツールについて説明します。
- 「ツールバーの使用」 - この章では、メインツールバーとツールバーアイコンについて説明します。
- 「ハードウェアの定義」 - この章では、プローブ、測定機、クイック治具の定義およびチップの校正について説明します。
- 「要素の自動作成」 - この章では、シングルクリックで自動要素を作成する方法について説明します。
- 「測定要素の作成」 - この章では、測定要素の作成方法について説明します。
- 「既存の要素からの新しい要素の作成」 - この章では、すでに測定ルーチンにある他の要素から要素を作成する方法を説明します。
- 「一般要素の作成」 - この章では、一般要素の作成方法とReadPointコマンドについて説明します。
- 「アラインメントの作成および使用」 - この章では、アラインメントを作成、保存および呼び出しを行う方法について説明します。
- 「ゲージの使用」 - この章では、さまざまなシステムおよび要素の特性を測定するために設計されたクイックチェックツールの使い方について説明します。
- 「レガシー寸法の使用」 - この章はレガシー寸法について説明します。
- 「幾何公差の使用」 - この章では GD&T 規格の要素コントロールフレームおよび記号を使用して、要素と幾何公差を測定する方法について説明します。
- 「パートのスキャン」 - この章では、基本および高度なスキャンオプションについて説明します。
- 「移動コマンドの挿入」 - この章では、測定機またはプローブの動作を制御することができる様々なコマンドについて説明します。
- 「フロー制御を使用した分岐」 - この章では、測定ルーチンのフローを制御するコマンドについて説明します。
- 「統計データの追跡」 - この章では、測定ルーチンで統計データを追跡および使用する方法について説明します。
- 「測定実績のレポート」 - この章では、レポート、レポートウィンドウ、レポートおよびラベルテンプレート、カスタムレポート、ならびにフォームについて順を追って説明します。
- 「レポートコマンドの挿入」 - この章では、測定ルーチンに挿入できるレポートコマンドについて説明します。
- 「ファイル入力/出力の使用」 - この章では、測定ルーチンでのファイル入力/出力を使用して、ファイルからの読み出し、ファイルへの書き込みおよびその他の操作のためにファイルを開く方法を説明します。

- 「式と変数の使用」 - この章では、式の作成方法と式の結果を変数に代入する方法について説明します。
- 「外部要素の追加」 - この章では、測定ルーチンに外部アプリケーション、スクリプト、測定ルーチン、およびその他のオブジェクトを使用して機能をさらに強化する方法について説明します。
- 「複数アームモードの使用」 - この章では PC-DMIS をデュアルアーム CMM と共に使用する方法について説明します。
- 「複数のウィンドウ操作と表示」 - この章では、開いたウィンドウ間で移動し、表示を行う方法について説明します。

上記のセクションに加えて、PC-DMISのドキュメントには、次のことを説明した付録があります:

- 「オフラインモードでの作業」
- PC-DMISでのInspection Planの使用
- リスト デバイスの使用
- オペレータモードの使用
- ショートカット キーおよびショートカット メニューの使用
- 設定エントリの変更

## ドキュメントの命名規約

ドキュメント全体で以下の規約が使用されています。

### **ボールド体フォント テキスト**

太字体は以下を示す場合に使用されます:

- ダイアログ ボックスの要素
- ダイアログボックスのタイトル
- コマンド ボタン
- メニューおよびメニュー項目
- ツールバー
- ツールバー アイコン
- 入力必須のテキスト

例:

はじめに：概要

- [ファイル | 新規]メニュー項目を選択します。
- [開く]ダイアログボックスにアクセスします。
- **セーブ** ボタンをクリックして下さい。

太字体は**注記**、**警告**、**ヒント**、および**例**にも使用されます。



手順およびその他のトピック内のメニューまたはメニュー項目を示す場合、当ドキュメントではメニューを次のように示します。

**メニュー | サブメニュー または メニュー項目 | メニュー項目**

ただし、メニューの位置や名称はカスタマイズ可能なため、このドキュメントではデフォルト位置のメニュー項目のみ表示します。

## イタリック体テキスト

イタリック体テキストは主に**強調**のために使用されます。例えば、「...プローブが障害物にぶつかった場合、自動的に停止**しません**」。

斜体文字は本やマニュアルのタイトル、プログラムの引数にも使用されます。

## 大文字テキスト

大文字テキストは、一般的に以下の言及時に使用されています：

- 頭文字 (VDAFS、DMIS等)
- 時刻 (9 A.M. および 4 P.M. 等)
- デバイス名 (例えば、LPT1やCOMM PORT 2)

コンピュータープログラミングの要素が表示されている場合には、以下の項目についても大文字が使われています：

- コントロールクラス
- データフォーマット
- 環境変数
- ハンドル
- フック

- インデックス
- マクロ
- ステートメント
- ストラクチャー
- システムコマンド
- 値

### 下線の付いたテキスト

下線は、必要に応じて強調する場合に使われていますが、通常では強調には斜体文字が使われます。

ハイパーリンクも下線付きで表示されます。

### 番号順一覧

番号付きリストは一連の説明および手順のステップ、その他連続したリストを示します。また、図表および画像の要素を特定する場合にも使用されます。

例えば、

1. [ファイル]を選択します。
2. [新規]を選択します。
3. 新規測定ルーチンダイアログボックスに必要事項を記入します。

### ノートボックス

ドキュメント全体では、ドキュメントをオフセットする特別なボックスがあります。彼らの意味は次のとおりです。



これは注記を示します。



これは重要な注記を示します。





これはヒントを示します。



これは実例を示します。



これは注意を示します。注意を怠ると、データが失われたり、ハードウェアが損傷する可能性があります。



これは警告を示します。警告に従わないと、身体傷害に終わる可能性があります。

---

## PC-DMIS 自動操作

PC-DMISはあらゆるサードパーティ製ソフトウェアからの完全な自動化をサポートします。例えば、ユーザー独自のカスタマイズされたアプリケーションを作成し、自動コマンドを使用して、そのアプリケーションからPC-DMISを起動して使用することができます。

PC-DMIS を制御する自動コマンドおよびサポートされる BASIC 言語コマンドの詳細については、「PC-DMIS Basic 言語」文書と追加情報のための「自動化オブジェクト」文書を参照してください。

# ソフトウェア コンフィギュレーション

必要なモジュールを購入され、ライセンスが適切に設定されている場合、異なる設定でPC-DMISを起動できます。これを行うには、アプリケーションを起動するショートカットコマンド行、バッチファイルまたはコマンドプロンプトのウィンドウに以下のスイッチを追加します。

## 利用可能なソフトウェア設定スイッチ

**/f** - オフラインモードではこのスイッチを使用します。

**/u** : ユーザーが管理者としてシステムにログオンしているとき、ユーザー特権レベルに対してこのスイッチを使用することができます。

**/o** - オペレーターモードではこのスイッチを使用することができます。

**/r** - 複数アームシステムの逆軸モードでこのスイッチを使用することができます。

**/p** - Proモードでこのスイッチを使用することができます。**/c**スイッチと一緒にこのスイッチを使用することはできません。

**/c** - CADモードでこのスイッチを使用することができます。**/p**スイッチと一緒にこのスイッチを使用することはできません。

**/d** - 現在のセッションのデバッグモードでこのスイッチを使用することができます。

**/envFile** - このスイッチを使用して、選択した環境またはデフォルト環境でPC-DMISを実行することができます。

**/envFile: <環境名>** - このスイッチを使用して、指定した環境でPC-DMISを実行することができます。

**/nc0** - このスイッチを使用して、CNC機能なしでPC-DMISを実行することができます。

**/5unique** - このスイッチを使用して、この機能なしでPC-DMISを実行することができます。

**/c** - このスイッチを使用するとPC-DMISをCADモードで実行することができます。

**/p**スイッチと一緒にこのスイッチを使用することはできません。

**/cmt** - このスイッチを使用して、この機能なしでPC-DMISを実行することができます。

**/d** - このスイッチを使用すると、現在のセッションについてデバッグモードでPC-DMISを実行することができます。

**/dccscanning** - このスイッチを使用して、この機能なしでPC-DMISを実行することができます。

**/displaycad** - このスイッチを使用して、この機能なしでPC-DMISを実行することができます。

**/f** - このスイッチを使用するとPC-DMISをオフラインモードで実行することができます。

**/fullcrashdump** - このスイッチを使用して、PC-DMISに通常よりも詳しいクラッシュレポートファイルを生成させることができます。これらの詳細なクラッシュレポートファイルは、Hexagonプログラマーが製品のハングアップや応答停止を引き起こした原因を突き止めるのに役立ちます。また、完全クラッシュダンプには画面キャプチャも含まれます。このスイッチを使わない場合、ソフトウェアは標準クラッシュレポートを使用します。標準クラッシュレポートには画面キャプチャーはありません。

**/laserinterface** - このスイッチを使用すると、レーザーストライプコントローラとその関連する機能を選択することができます。コロンの後に以下のような特定のコントローラを追加できます。

- /laserinterface:cms
- /laserinterface:mercury
- /laserinterface:romerintegrated

**/laserprobe** - このスイッチを使用して、この機能なしでPC-DMISを実行することができます。

**/masterslave** - このスイッチを使用して、この機能なしでPC-DMISを実行することができます。

**/nc0** - このスイッチを使用して、CNC機能なしでPC-DMISを実行することができます。

**/nocontactprobe** - このスイッチを使用して、この機能なしでPC-DMISを実行することができます。

**/nocrashdump** - このスイッチを使用してPC-DMISでのクラッシュレポートファイルを無効にすることができます。

**/nomigrate** - このスイッチを使用して、以前のバージョンからエントリとデータファイルが移行されないようにすることができます。このスイッチは「すぐに使える」体験を提供します。キー設定や校正データを以前のバージョンから転送したくない場合は、このスイッチを使用すれば済みます。このスイッチを使用するには、管理者として初めてPC-DMISを実行するユーザーが使用するすべてのショートカットまたはコマンドにこのスイッチを追加します。これを行うと、PC-DMISはユーザの設定、またはデータファイルを最新バージョンからコピーしません。

**/o** - このスイッチを使用すると PC-DMIS をオペレータモードで実行することができます。

**/p** - このスイッチを使用すると PC-DMIS を Pro モードで実行することができます。**/c** スイッチと一緒にこのスイッチを使用することはできません。

**/r** - このスイッチを使用すると、複数アームシステムの Arm2 で「逆軸」モードを有効にすることができます。

**/remotepanel** - このスイッチを使用して、この機能なしでPC-DMISを実行することができます。

**/rotarytable** - このスイッチを使用して、この機能なしでPC-DMISを実行することができます。

**/sheetmetal** - このスイッチを使用して、この機能なしでPC-DMISを実行することができます。

**/statsoutput** - このスイッチを使用して、この機能なしでPC-DMISを実行することができます。

**/systemv** - このスイッチを使用して、この機能なしでPC-DMISを実行することができます。

**/toolchanger** - このスイッチを使用して、この機能なしでPC-DMISを実行することができます。

**/u** - このスイッチを使用すると、管理者としてコンピュータにログオンする場合でも、通常のユーザー特権で PC-DMIS を動作させることができます。

**/vision** - このスイッチを使用して、この機能なしでPC-DMISを実行することができます。

**/wrist** - このスイッチを使用して、この機能なしでPC-DMISを実行することができます。

**/DCILOAD:<ファイル>** : このスイッチを使用して、ダイレクトCADインターフェイス (DCI) でファイルを読み込むことができます。ここで、<ファイル>はモデルのフルパスおよびファイル名を示しています。

**/DCTLOAD:<ファイル>** : このスイッチを使用して、ダイレクトCADトランスレータで提供されたパートモデルを読み込むことができます。ここで、<ファイル>はモデルのフルパスおよびファイル名を示しています。

**/ISPROE** - このスイッチを使用して、ソフトウェアが Creo で.prt ファイルを使用するように指定することができます(NXおよびCreoともに同じ.prt ファイル拡張子を使用します)。このスイッチは**/DCILOAD**スイッチの後に付けます。

**/NC0** - このスイッチを使用して、PC-DMIS NC 実行中に PC-DMIS を通常のオフラインモードで実行することができます。CNCライセンスオプションはポートロックにおいて0より大きい値として定義されます。

## DCI/DCT の例

- このコマンド行は PC-DMIS を起動し、PC-DMIS Direct CAD Translators (DCT) を使用して、.igs CAD モデルを読み込みます：

```
"C:\Program Files\Hexagon\<バージョン>\PCDLRN.exe" /p /f
```

- このコマンド行は PC-DMIS を起動し、NX Direct CAD Interface (DCI) から.prt CAD モデルを読み込みます：

```
C:\Program Files\Hexagon\<version>\Pcdlrn.exe New.prg  
/DCILOAD:d:\partmodels\hexblock.prt
```

- このコマンド行は PC-DMIS を起動し、Creo DCI として.prt CAD モデルを読み込みます：

```
C:\Program Files\Hexagon\<version>\Pcdlrn.exe New.prg  
/DCILOAD:d:\partmodels\proe.prt /ISPROE
```

## スイッチを使用したショートカット修正のルーチン

1. PC-DMIS 実行ファイルのショートカットがあるディレクトリにアクセスします。以下が使用されるディレクトリです：

```
C:\ProgramData\Microsoft\Windows\Start Menu\Programs\2026.1\
```

2. ディレクトリを右クリックして [新規 | ショートカット]を選択します。
3. 画面の指示に従ってショートカットがPC-DMIS 実行ファイル (pcdlrn.exe) がある場所を示すようにします。
4. PC-DMIS実行用pcdlrn.exeへのショートカットのフルパスに従い、必要なコマンドラインスイッチ（または引数）を付け加えて下さい：

つまり、PC-DMIS *Pro* をオフラインモードで実行したい場合、ターゲットとなる場所は以下ようになります：

```
"C:\Program Files\Hexagon\<version>\PCDLRN.exe" /p /f
```

ここで <バージョン> とは PC-DMIS のバージョンです。

また、コマンドラインの引数として測定ルーチンを示すパスの文字列を追加することで、PC-DMIS に指定の測定ルーチン (または複数の測定ルーチン) を自動的に開くよう指示することも可能です。

- 但し、読み込む測定ルーチンを指定するとき、上記で説明した他の引数に対して必要な「/」記号は不要です。
- 複数の測定ルーチンを開くには、それぞれのパスの間に空白を入力します。
- ファイル名に空白を含む場合、パスを引用符で囲みます。

例えば、「私の測定ルーチン」という名前のディレクトリから *test.prg* と *test2.prg* の2つの測定ルーチンをオフラインモードで読み込む場合、ターゲットの場所は次のようになります：

```
"C:\Program Files\Hexagon\<version>\PCDLRN.exe" /f "d:\my  
measurement routines\test.prg" "d:\my measurement routines\test2.prg"
```

最も常用なモードはオフラインおよびオンラインモードです。これら2つの特徴的な製品は特定のニーズを満たすように設計されています。それらは完全な測定ルーチンの作成、寸法の分析、およびリバースエンジニアリングシステムに同時に使用することができます。

これらの設定及びその他の設定については以下で説明します。

## オフライン・モードとオンライン・モードの比較

PC-DMISのオンラインモードとオフラインモードは同じ機能を共有しているため、このドキュメントでは両方の製品の使用方法について説明します。ただし、場合によっては、オンラインモードのソフトウェアの特定の機能がオフラインモードのソフトウェアに適用されません。これらのケースは必要に応じて触れます。

### オフライン測定ルーチンプログラミング

PC-DMISをオフラインモードで使用すると、オンラインモードで作成された部品を編集したり、CAD入力ファイルをインポートしたり、DMIS 測定ルーチンを使用して、CMMから離れた測定ルーチンを開発およびデバッグできます。その後、オンラインモードで測定ルーチンを直接実行するか、DMISまたはいくつかのベンダー固有のフォーマットの1つにエクスポート（後処理）することができます。オフラインモードでCMMを直接操作することはできません。

PC-DMIS をオフラインモードで起動するには、以下を行います：

1. コンピュータおよびすべての周辺機器の電源を入れ、コンピュータにログインします。
2. PC-DMISプログラムグループのオフラインアイコンをマウスの左ボタンでダブルクリックします。



3. PC-DMIS を使用してパーツ測定ルーチンをプログラムします。PC-DMISを初めて使用する場合は、PC-DMIS CMMのドキュメントの「簡単なチュートリアル」を参照してください。

付録の「オフラインモードでの作業」では、オフラインモードでPC-DMISを使用する際の詳細について説明しています。

## オンライン測定ルーチンプログラミング

PC-DMISをオンラインモードで使用して、測定ルーチンを実行し、部品（または部品の一部）を迅速に検査し、CMMの上で測定ルーチンを直接開発することができます。オンラインモードのPC-DMISは、CMMまたは他の測定装置に接続されていないと機能しません。オフライン・プログラミングの技法はオンラインモードで機能します。

オンラインモードでPC-DMISを起動するには、PC-DMIS CMMのドキュメントの「はじめに」の章を参照してください。CMMの起動と原点復帰のプロセスについて説明します。

## PC-DMIS CMM

お手持ちのパーツのインスペクションのために、PC-DMIS CMMIは、お手持ちの高精度三次元測定機（CMM）と共に使えます。PC-DMISは、以下のことを行う、世界最初のCMMソフトウェアです：

- インスペクションプロセスでの、CADモデルの使用。
- ダイレクト CAD インターフェイス (DCI) 技術によって CAD システムと測定ソフトウェアを直接リンクします。
- 自動車産業界仕様の、フルセット板金測定ルーチンを実施。

- オフライン仮想 CMM 環境で測定をデジタルシミュレーション。
- 当社の驚くべき反復配置技術を用いて、複雑な輪郭を持つパーツを簡単に配置。
- その他多数。

PC-DMIS CMM には様々な標準設定があります。それぞれが特定グループの顧客のニーズを満たすようきめ細かく特別設計されています。また、PC-DMISでは特別なタスクを実行するために様々なオプションモジュールが用意されています。これは、ユーザーが特定のニーズを満たすためにソフトウェアを微調整することが可能だという事を意味します。

**PC-DMIS Pro** – このベースライン PC-DMIS CMM パッケージは、CAD を検査プロセスに統合する必要のない顧客向けに強力かつ使用が簡単な計測ソフトウェアパッケージを提供します。PC-DMIS Pro では **[Quick Start]**ルーチンが組み込まれており、ユーザーは最小限の労力で CMM の立ち上げおよび実行が可能です。

**PC-DMIS CAD** – CAD を検査プロセスに取り込みます。PC-DMIS CAD では、ユーザーはCAD モジュールの利点を最大限活かしながら検査プログラムを作成し測定結果を評価することができます。このソフトウェアには簡単な 2D 描画から複雑な3D立体モデルに至るまでCAD ファイルを使用した操作に必要なツールが用意されています。

**PC-DMIS CAD++** – PC-DMIS CAD の機能が強化されたもので、洗練された高速スキャン、板金測定、パートのアラインメント等を含みます。PC-DMIS CAD++ を使用すると複雑な形状を簡単に測定できます。

コンタクトプローブおよび CMM の特化した項目については「PC-DMIS CMM」ドキュメントに説明があります。その他の情報については、このPC-DMIS Coreのドキュメントを参照してください。

## PC-DMIS Vision

この特別版 PC-DMIS では、ある特定の光学プローブを使用して要素を測定することが可能です。このモジュールを購入している場合、詳しい説明は「PC-DMIS Vision」文書を参照してください。



## PC-DMIS NC

この特別版PC-DMISでは、数値制御 (NC) 測定機ツールを使用してパートの測定を実行できます。これらの測定機はCNC (Computer Numerical Control : コンピューター数値制御) 測定機とも呼ばれています。このモジュールを購入している場合、詳しい説明は「PC-DMIS/NC」文書を参照してください。

## PC-DMIS レーザー

この PC-DMIS モジュールでは、レーザープローブを使用してレーザーストラップをパーツに照射し、多量の点を収集し、次にそれらを幾何要素に変換、定義することで簡単にパーツを測定できます。このモジュールを購入している場合、詳しい説明は「PC-DMIS Laser」文書を参照してください。

## PC-DMIS ポータブル

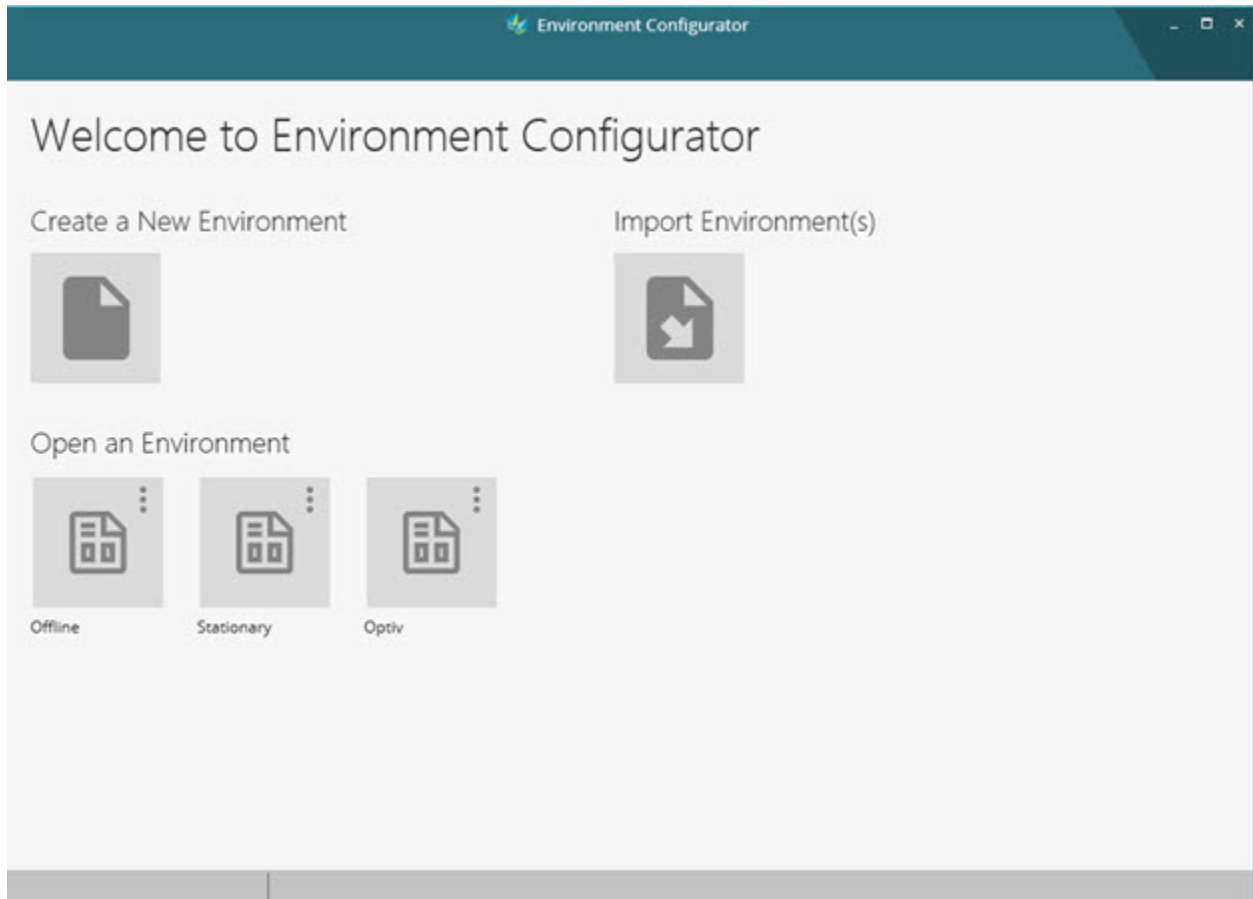
PC-DMISポータブルコンフィギュレーションは、ポータブル測定デバイスと共に作動し、お手持ちのパーツのインスペクションを行います。ポータブルデバイスは手動の測定機であり、そのサイズとデザインのおかげで、新規の所在位置へ比較的容易に移動できます。より詳しい情報については、「PC-DMIS ポータブル」文書を参照して下さい。

## PC-DMIS Gear

PC-DMIS Gear は PC-DMIS と共に動作し、ユーザーのあらゆるギアパーツを素早く簡単に測定できるソフトウェア製品です。このモジュールを購入している場合、詳しい説明はPC-DMIS Gear アプリケーションと共にインストールされている「PC-DMIS Gear」ヘルプファイルを参照してください。

PC-DMISのご利用をお楽しみいただき、当ツールの利便性と強力を認識してください。お客様のご意見、ご感想は、当社にお知らせください。当社は常に製品を改善する方法を求めています。

## 環境コンフィギュレータ



環境コンフィギュレータユーティリティを使用して、PC-DMIS の環境の定義、開くことおよびインポートすることができます。

任意の測定ルーチンを開く前に、環境を定義してその環境を選択できます。

- 環境を定義するには、ホームページで **[編集 | 環境の作成/編集]** を選択します。
- 環境を選択するには、ホームページで **[編集 | 環境ファイルの選択]** を選択します。

## 環境コンフィギュレータ：概要

PC-DMIS はユーザーの現在のライセンス構成に基づいて自動的に環境ファイルを生成します。ファイルには次の情報が含まれています：

- インターフェイスの種類
- 非接触センサーの種類

はじめに：概要

PC-DMIS を起動すると、PC-DMIS はこの情報を使用してオンラインのデバイスに接続します。


Hexagon は下記のインターフェイスをサポートするために、オフラインライセンスで出荷しています：

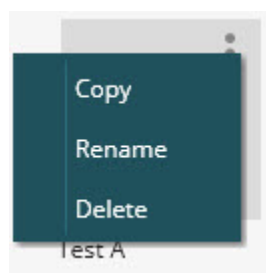
- すべての測定機インターフェイス
- すべてのレーザーインターフェイス
- すべてのビジョンインターフェイス
- すべてのポータブルインターフェイス

環境ファイルを使うと、ユーザーのオンライン環境によく適合する UI でオフライン PC-DMIS を構成することができます。

## メニュー

[環境を開く] エリアでは「環境」タイルに、各タイルの右上にある [追加の操作] ボタンでアクセスできる独自のメニューがあります。

メニューを表示するには [追加の操作]  ボタンをクリックします。メニューには環境を扱える操作の一覧が表示されます。



**コピー** - このメニュー項目は [環境のコピー] ダイアログボックスを開いてコピーされる設定に名前を与えます。

**名前を変える** - このメニュー項目は [環境の名前を変える] ダイアログボックスを開いて新しい名前を提供します。

**削除** - このメニュー項目は表示から環境を削除します。

## 選択した環境で測定ルーチンを開く

選択した環境で測定ルーチンを開くには以下の手順に従います：

1. ホームページで **[編集 | 環境ファイルの選択]** を選択します。このメニューにはユーザーのコンピュータで作成したすべての項目が表示されます。
2. 環境を選択します。
3. PC-DMIS はアプリケーションを再起動して新しい環境を使用するようユーザーに通知するメッセージを表示します。 **[OK]** をクリックして PC-DMIS を再起動します。



- 固定型デバイス (CMM と Optiv) では、PC-DMIS はそのデバイスに対応する環境しか表示しません。PC-DMISはデフォルトでそれを選択します。
- ポータブルデバイスでは、PC-DMIS はすべてのポータブル環境を表示します。ユーザーの環境を選択する必要があります。
- オフラインでは PC-DMIS は固定型 Optiv とすべてのポータブル環境オプションを表示します。環境を選択するには以下の手順 1~3 に従います。

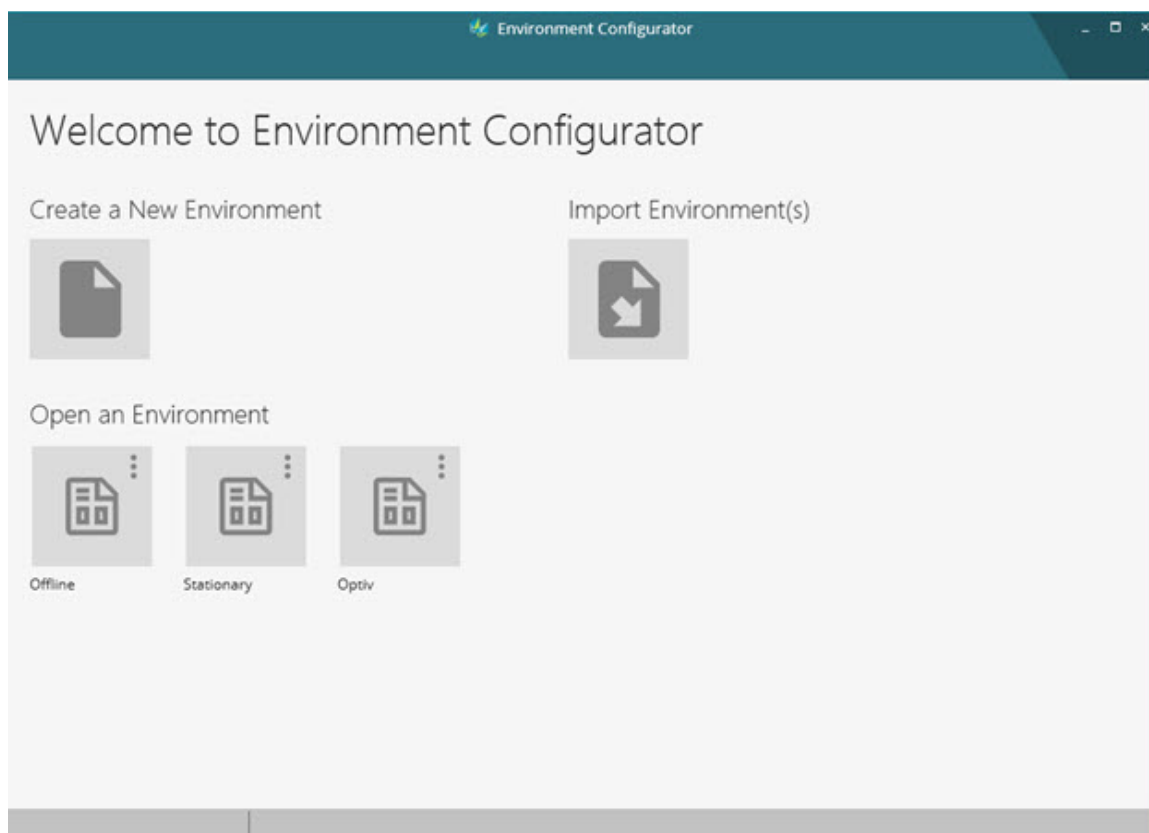
## 環境の作成および編集

環境を作成するには以下の手順に従います：



管理者として PC-DMIS を実行する必要があります。

1. PC-DMIS ホームページから **[編集 | 環境の作成/編集]** を選択します。これで **[環境コンフィギュレータ]** ダイアログボックスが開きます。



[環境コンフィギュレータ] ダイアログボックス

このダイアログボックスには3つのエリアがあり、これらを使用して新しい環境の作成、環境のインポートまたは環境を開くことができます。

2. 新しい環境を作成するには、**[新しい環境の作成]** タイルをクリックして **[新しい環境の名前]** ダイアログボックスを開きます。
3. **[新しい環境の名前]** ダイアログボックスの **[環境ファイル]** ボックスに名前を入力します。
4. **[OK]** をクリックします。これでハードウェアと PC-DMIS の設定を定義する画面が開きます。
5. 新しい環境の定義を行ったら **[保存]** をクリックします。

既存の環境を編集する、または開く場合は以下の手順に従います：

1. **[環境コンフィギュレータ]** ダイアログボックスの **[環境を開く]** エリアで、編集するタイルをクリックします。
2. **[ハードウェア設定]** および **[PC-DMIS 設定]** タブで変更を行います。
3. **[OK]** をクリックします。

別のオンラインデバイスから生成した既存の環境をインポートするには以下の手順に従います：



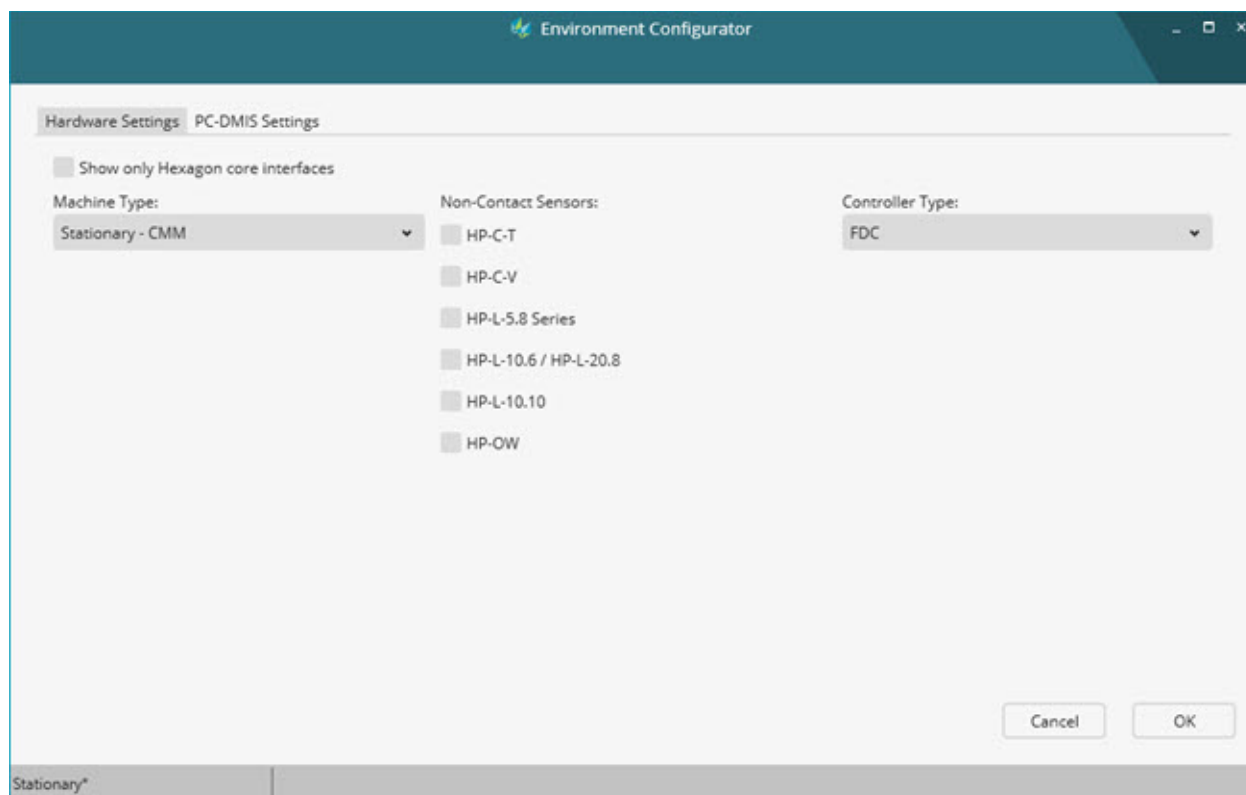
このオプションを使用できるのは、ユーザーの測定機に対応する環境を選択できるようにする個別のオフラインライセンスを所持している場合です。

1. **[環境コンフィギュレータ]** 画面の **[環境のインポート]** エリアで編集したいタイルをクリックします。これで **[ファイルの選択]** ダイアログボックスが開きます。
2. **[ファイルの選択]** ダイアログボックスで希望のフォルダーに移動し、「環境ファイル」(.json) ファイルを選択します。
3. ファイルを選択したら **[開く]** をクリックします。これで **[環境を開く]** エリアで項目が追加されます。
4. **[環境を開く]** エリアで開きたいタイルをクリックします。これで **[ハードウェア設定]** および **[PC-DMIS 設定]** タブの付いた画面が開きます。
5. **[ハードウェア設定]** タブの **[測定機の種類]** 一覧から、**固定型 - CMM** または **固定型 - Optiv** を選択します。
6. **[コントローラの種類]** 一覧から **[オフライン]** を選択します。
7. **[OK]** をクリックします。これで **[環境を開く]** エリアで環境が追加されます。

## ハードウェア設定

**[ハードウェア設定]** タブでコントローラ および センサー 設定を定義します。

はじめに：概要



[環境コンフィギュレータ] ダイアログボックス - [ハードウェア設定] タブ

**Hexagon コアインターフェイス** - このチェックボックスは [コントローラの種類] 一覧をフィルターして、Hexagon が製造するコントローラしか表示されないようにします。

**測定機の種類** - この一覧で以下のようなデバイスの種類を選択できます：

- 固定型 - CMM
- 固定型 - Optiv
- Portable

[測定機の種類] 一覧からの選択に基づいて PC-DMIS は **非接触センサー** および **コントローラの種類** 一覧を更新します。

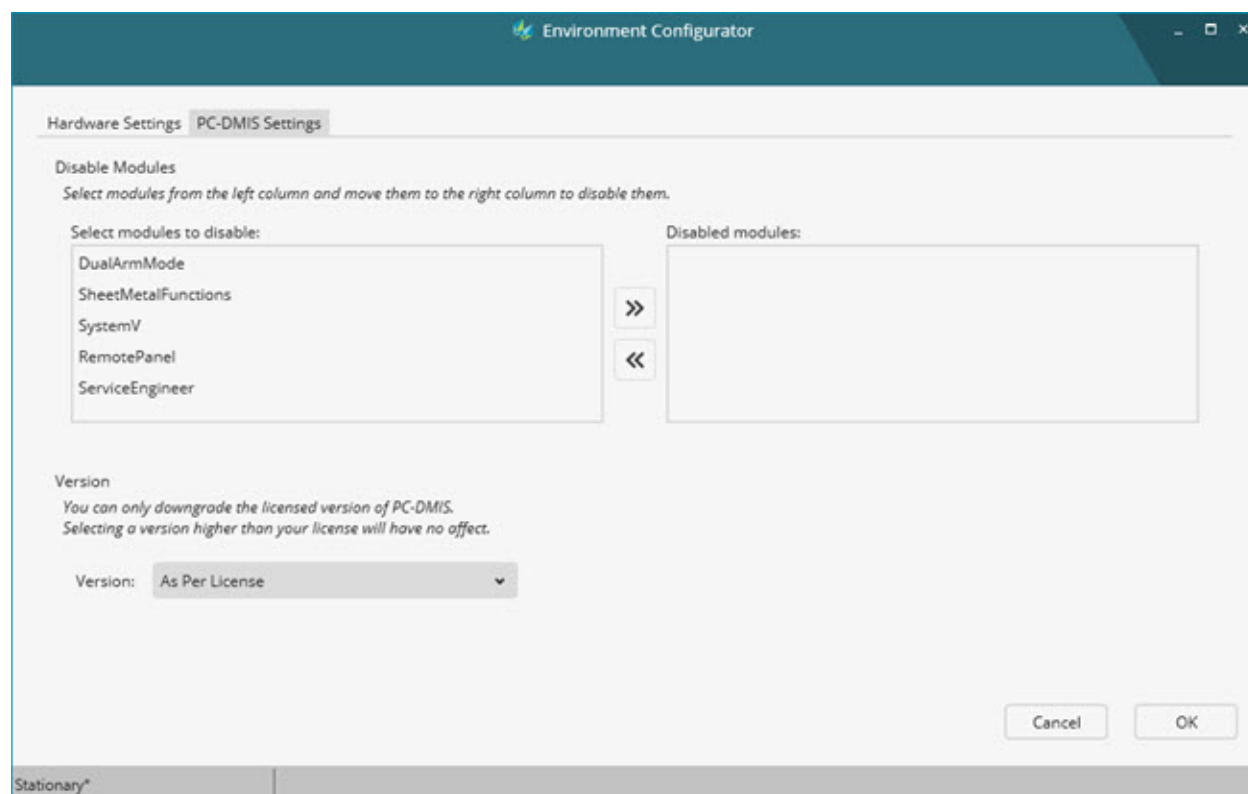


また、PC-DMIS がサポートしないセンサーの組み合わせを選択すると、PC-DMIS は環境コンフィギュレータのステータスバーに、これを示すメッセージを表示します。

## PC-DMIS 設定

[PC-DMIS 設定] タブでは、希望の方法で PC-DMIS を起動するのに使用するオプションを設定できます。設定を変更しない場合、PC-DMIS はデフォルトのオプションで起動します。

これらの設定では**起動オプション**と**バージョン**を定義できます。



[環境コンフィギュレータ] ダイアログボックス - [PC-DMIS 設定] タブ

### モジュールを無効にする

このエリアでは、ユーザーのライセンスに関連するアプリケーションモジュールを無効 (および有効) にすることができます。




必要のないライセンスオプションは無効にすることができます。これを行うには、下記手順に従います：

1. **[モジュールを無効に選択する]** 一覧から無効にしたいモジュールを選択します。



複数のモジュールを選択する場合は Ctrl を押して追加選択するモジュールをクリックします。


2. **[選択されたモジュールを無効にする]**  をクリックして、選択されたモジュールを **[モジュールを無効に選択する]** 一覧から **[無効にされたモジュール]** 一覧に移動します。

1 つまたは複数のモジュールを有効にするには下記手順に従います。

1. **[無効にされたモジュール]** 一覧から有効にしたいモジュールを選択します。



複数のモジュールを選択する場合は Ctrl を押して追加選択するモジュールをクリックします。

2. **[選択されたモジュールを有効にする]**  をクリックして、選択されたモジュールを **[無効にされたモジュール]** 一覧から **[モジュールを無効に選択する]** 一覧に移動します。

## バージョン

このエリアでは PC-DMIS の特定のレベルを選択できます。



現在のライセンスより高度な PC-DMIS レベルを選択することはできません。

**[バージョン]** 一覧から測定ルーチンを開くのに使用する PC-DMIS ライセンスを選択します。

利用可能なオプションは基本ライセンス、プロ、Cad、ベーシックおよびプレミアムです。